

宮古空港

MIYAKO AIRPORT

宮古空港管理事務所
住所：宮古島市平良字下里1657-128
電話：0980-72-4127

AIRPORT of OKINAWA

■空港の概況

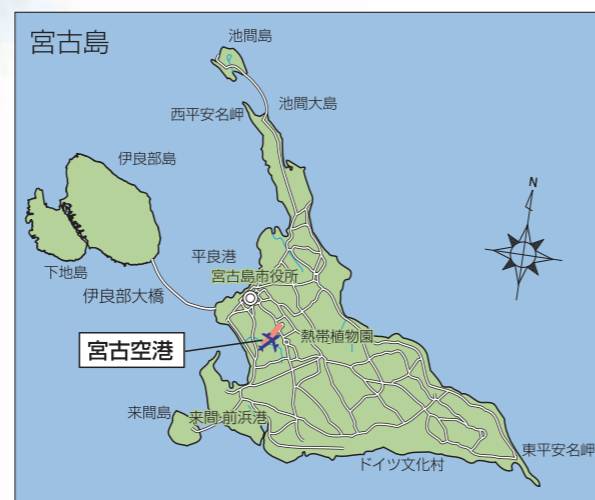
宮古空港は、昭和18年6月旧日本軍により海軍飛行場として建設された。昭和31年6月から民間航空による定期運航が開始され、その後、滑走路及びエプロン等の整備がなされ、昭和43年YS-11型機が就航した。

昭和47年度から航空法に基づく拡張整備等を行い、昭和50年3月滑走路1,500mで供用開始した。その後、航空需要の増大や機材の大型化に対応するため、滑走路及び航空保安施設等を整備し、昭和53年12月暫定ジェット化空港として供用開始した。

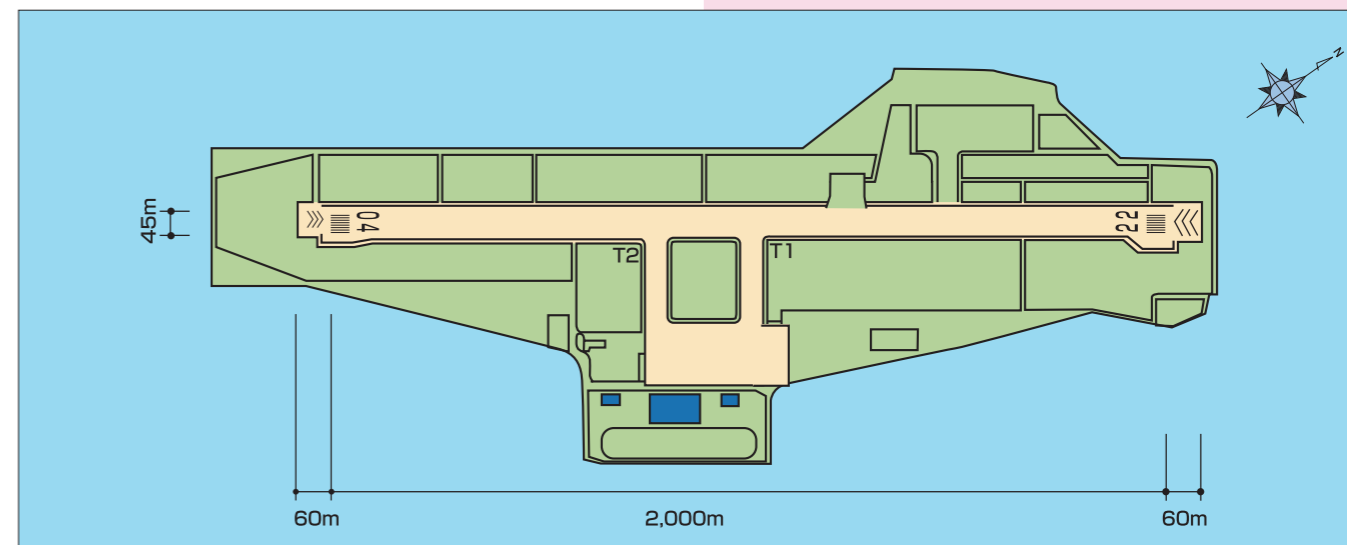
また、昭和54年度から滑走路2,000mの空港拡張整備事業に着手し、昭和58年7月供用開始した。さらに平成4年度から航空需要の増大と機材の大型化に適切に対応するため、ターミナル地区を西側から東側へ移転する拡張整備事業に着手し、平成9年7月供用開始した。

平成13年6月には混雑解消のため誘導路を増設し、現在2本の誘導路で供用している。

■位置図

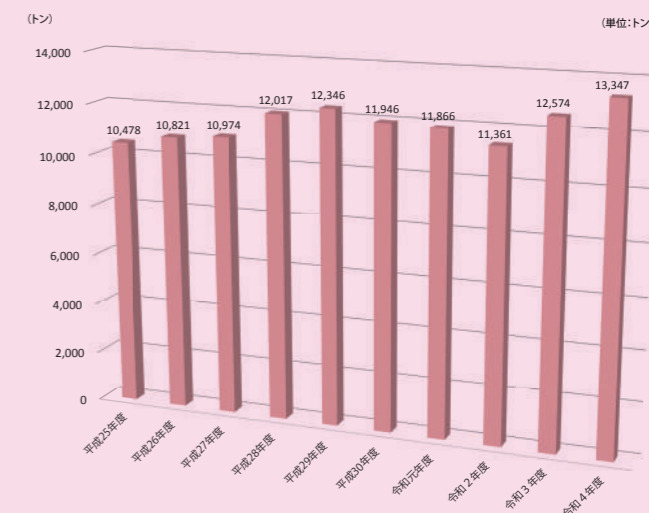


■平面図



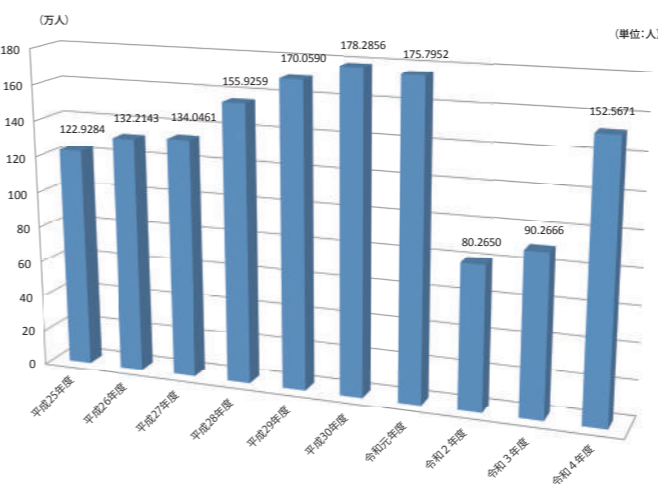
▲ターミナルビル

■貨物量の推移



■航空輸送実績

旅客数の推移



■沿革

- S.18. 6 旧日本軍により海軍飛行場として建設
- S.31. 6.16 民間航空機運航開始
- S.47.11.14 飛行場現況届告示 (R/W1,500m)
- S.48. 1.25 宮古空港設置許可 (R/W1,500m、設置者：沖縄県)
- S.48. 2.27 第三種空港に政令指定
- S.50. 3. 1 供用開始 (R/W1,500m)
- S.52. 6. 2 施設変更 (R/W強度8.5t→18.3t) 許可
- S.53.12. 1 供用開始 (R/W強度18.3t (ジェット化))
- S.54.12.17 施設変更 (R/W1,500m→2,000m) 許可
- S.58. 7. 1 供用開始 (R/W2,000m)
- H. 2. 3.26 施設変更 (R/W強度18.3t→31.5t) 許可
- H. 4. 5.28 供用開始 (R/W強度31.5t (Mジェット対応))
- H. 5. 6.24 施設変更 (誘導路・エプロン拡張等) 許可
- H. 9. 7.17 供用開始 (新ターミナル地区)
- H.11. 9.27 施設変更 (誘導路増設) 許可
- H.13. 6.14 供用開始 (誘導路増設)
- H.20. 6.18 地方管理空港に政令指定 (法改正に伴う)
- H.22. 8. 2 駐車場有料化
- R. 2. 4.23 供用開始 (エプロン拡張)

■空港諸元

項目	概要
種別	地方管理空港
設置管理者	沖縄県
所在地	宮古島市
標点位置	北緯24°46'58" 東経125°17'42"
標高	42.62m
空港面積	1,208,819㎡
着陸帯	2,120m×300m C級
滑走路	2,000m×45m LA-12 N38°18'21"E：真方位
誘導路	460m×30m
エプロン	29,590㎡ 航空機コードD 2バス、航空機コードC 2バス、航空機コードD (プロペラ機) 1バス (R2.6.18供用開始予定)
航空灯火	飛行場灯台、進入灯、進入角指示灯、滑走路灯、滑走路中心線灯、誘導路灯、風向灯、接地帯灯、等
航行援助施設	VORTAC、ILS
駐車場	37,600㎡ 406台
Tビル面積	10,946.61㎡
運用時間	08:00~21:00 (13時間)

■路線別就航状況

(令和5年11月現在)

路線	航空会社	就航機種	日便数	所要時間
那覇	ANA	B-737	5	50分
	JTA	B-737	8	50分
	RAC	DHC-8	1	50分
石垣	RAC	DHC-8	2	35分
	RAC	DHC-8	2	25分
東京	ANA	B-767-B-787	3	2時間30分
	JAL	B-767-B-737	1	2時間30分
大阪	JTA・ANA	B-737	1	2時間
名古屋	ANA	B-737	1	2時間10分

市町村概況

行政区	人口 (人) (R3.1.1現在)	世帯数 (世帯) (R3.1.1現在)	面積 (km ²) (R3.10.1現在)
宮古島市	55,577	28,370	203.9